

七条中学校だより7月15号

京都市立七条中学校

令和8年7月21日

発行:校長 林 秀雄

夏休みに「小さな挑戦」を3 自分だけの探究

あと2日で夏休みが始まります。みなさんには、これまでも学校だよりなどで、規則正しい生活や安全な過ごし方について伝えてきました。今回は、ぜひ「探究すること」について考えてほしいと思います。

夏休みには、課題作文や自由研究、課題研究などの宿題があります。また、全国には中学生を対象とした科学研究作品展、環境に関する研究発表、人権作文をはじめ各種作文コンクールなど、さまざまな募集があります。せっかくの機会ですから、ただ宿題を終わらせるだけでなく、自分の興味や関心のあることを深く調べたり、実際に試したりしてほしいと思います。探究とは、「なぜだろう」「本当だろうか」と疑問をもち、その答えを自分で見つけようとすることです。

例えば、

●野球やサッカーが好きな人なら、「一流選手はどのような練習をしているのだろうか」と調べ、自分でも実践して記録をとる。●料理に興味がある人なら、「同じ材料でも調理方法によって味はどう変わるのか」を比較してみる。●生き物が好きな人なら、「家の周りにはどのような昆虫がいるのか」を観察し、種類や生息する場所をまとめる。●環境問題に関心がある人なら、「家庭でどのくらいの食品ロスが出ているのか」を調査し、減らす方法を考える。●京都の歴史に興味がある人なら、実際に寺社や史跡を訪れ、その歴史や文化について調べてみる。

大切なのは、テーマの大きさではありません。「好きなこと」「気になること」から始めることです。調べているうちに新たな疑問が生まれ、さらに調べたくなる。これこそが探究の楽しさです。

夏休みは、学校で過ごす時間よりも、自分で自由に使える時間がたくさんあります。その時間を使って、自分だけの「なぜ？」を追いかけてみてください。みなさんが夏休みの終わりに、「こんなことを調べた」「こんな発見をした」と目を輝かせながら話してくれることを楽しみにしています。有意義な夏休みを過ごし、一回り成長した姿で2学期に会いましょう。

この夏、「出会い」を大切に

みなさんは10年後、どのような自分になっているでしょうか。今は想像できなくても、その未来は日々の経験や出会いの積み重ねによってつくられていきます。そして、そのきっかけが今年の夏休みに待っているかもしれません。

そんなみなさんに、この夏ぜひ大切にしてほしいことがいくつかあります。その中の一つ、それは「出会い」です。「出会い」と聞くと、多くの人とは人との出会いを思い浮かべるかもしれません。もちろん、新しい友達や地域の方々、家族や先生との関わりも大切な出会いです。

しかし、私がみなさんに大切にしてほしい「出会い」は、それだけではありません。一冊の本との出会い。心を動かされる風景との出会い。今まで知らなかったものや考え方との出会い。夢中になれる趣味との出会い。ある出来事や体験との出会い。こうした出会いも、私たちの人生に大きな影響を与えてくれます。

出会いは、ただ待っているだけではなかなか訪れません。普段は手に取らない本を読んでも、行ったことのない場所を訪れてみる、地域の行事や活動に参加してみるなど、自分から一歩踏み出すことで新しい出会いは生まれます。最初は小さな興味や好奇心でも構いません。その小さな一歩が、自分でも気付かなかった新しい世界への扉を開いてくれるかもしれません。

私は、人はさまざまな出会いによって成長していくものだと思っています。ある人は一冊の本との出会いがきっかけで将来の夢を見つけるかもしれません。ある人は旅行先で見た景色によって新しい価値観を得るかもしれません。また、何気なく参加した活動が、その後の人生につながっていくこともあります。

今はまだ気付かなくても、10年後の自分がこれまでを振り返ったとき、「あの夏休みにあの本に出会ったことがきっかけだった。」「あの場所を訪れたことが、自分の考え方を変えた。」「あの体験があったから、今の自分がある。」そんなふうに思える瞬間があるかもしれません。

もちろん、すべての出会いがすぐに人生を変えるわけではありません。しかし、一つ一つの出会いや経験が積み重なって、みなさんの未来をつくっていきます。また、出会いの価値は、その瞬間だけで決まるものではありません。「なぜだろう」「もっと知りたい」と考えたり、行動したりすることで、その出会いはさらに大きな意味をもつようになります。ぜひ、この夏は好奇心を大切にしながら、自分だけの出会いを見つけてください。